

『家は続く』

岡本拓也

『家は続く』 作 岡本拓也

■登場人物

真帆 27歳

春子 58歳 真帆の母

美里 22歳 真帆の妹

愛知県にある一軒家、真帆の実家のリビング。

中央にローテーブルとソファ、奥にはダイニングテーブル。

美里が勉強するための小さいテーブルが部屋の隅にある。

部屋の中は物が所狭しと置かれている。

ダイニングテーブルの上は、マグカップ、ドッグフード、ジップロックなど。

ローテーブルの上には雑誌類、ペットボトル、お菓子、チラシを折って作った手作りのゴミ箱など。ソファの上にはクッション。

美里用の机の上には参考書、筆箱。机の下はお菓子の空袋、雑誌、本など特に散らかっている。

床には、袋に入ったままの新聞の束、チラシ、犬用のおもちゃなど。

春子、ソファに寝転んで雑誌を読んでいる。

向いの家から工事の音が聞こえている。

真帆、家に入ってくる。

真帆 ただいまあ

春子 え、なに、どうしたの急に

真帆 ああやっぱ見てないLINE

春子 LINEあ、ふっっ

真帆 朝

春子 (スマホをみて) ほんとだわ。え、どうしたの

真帆 いやどうもないけど、ていうかやば(床のものをよけつつソファへ)

春子 だってあんた滅多に帰ってこんが。仕事休みなの？

真帆 休み休み

春子 珍しいじゃん日曜に休みって。今日来たの？新幹線？

真帆 うん

春子 そう、え、でも何、ほんとに

真帆 いや別にどうもなくとも帰るときもあるよ

春子 いや、えー？

真帆 いやいや。そういえば向かい空いてたところ工事してたね

春子 ああ、そう前田さん亡くなってからずっと空いとったけど、家建つみたい

真帆 こんなところ売れんのかな

春子 わからん、名古屋まで出れんこともないからさ、名古屋で働いって子供がいたりして一軒家がいい人とかね

真帆 通うには遠いけどなあ

春子 まあね、だから売れるかわからんけどね。そうだ私、そこ土地に看板立っとなから電話したの、津田不動産

真帆 え、なんの電話

春子 「ここうるさいんで、騒いじゃう子がいるんで、そこ納得してくれる人お願いします」って言って

真帆 それは、なんていうか通じるの？

春子 通じるっていうか、あっちも電話口では「かしこまりました」って感じよ。なんか迷惑なおばちゃんにかけてきたくらいに思っるとるわ多分、あっちも商売だでさそんな話売る時には言わんと思うけどね、でも知らずに越して来たら可哀そうだと思

ってさあ

真帆 (2階の方を見て) で、その美里はおんの？

春子 こなつの散歩行っとる。今は機嫌いいわ

真帆 ずっと続くと良いけどね

春子 いや、この前も大変だったんだよ、騒いで警察沙汰で

真帆 警察？

こなつ(子犬)を抱えた美里が帰ってくる。

美里 (玄関から) お母さんタオル！

春子 はいはい

春子、洗面所へ出ていく。

美里、リビングに入り、真帆と視線が合う。

真帆 ども久しぶり

美里 あ、うん

真帆 こなつも久しぶりー

美里 (犬に) 久しぶり、だって

真帆 (犬に) 今いくつだっけ

美里 (犬に) 三歳だよ

真帆 (犬に) そうなんだねー

春子、タオルを持ってリビングに戻ってくる。

春子 (犬に) ふわふわちゃんお姉ちゃんだよー

真帆 ふわふわちゃん？

春子 もうふわふわだからねえ、ふわふわちゃん

美里 こなつだよね

春子 (犬に) ふわふわちゃんだよねえ

美里 お母さんこなつが用水路の横の草むら中入っついこうとするからゴミとかタバコとかあるからダメだよっていうんだけど何回も入ろうとするから「ばか」って言って今日何回「だめばか」って言っても聞かんの

春子 お父さんが散歩させるとき、わからず行かせちゃうから、それだわ多分

美里 じゃあお父さんがバカじゃん

美里、参考書を広げて勉強を始める。

春子 あんまバカバカ言わないの、それで真帆はいつぐらいまでおんの？明日まではおんの

真帆 それなんだけど今店が改装の工事してて水曜まで。で、有休使えてなかったからそれも使って金曜まで休みにさせてもらってて

春子 ああそう、良かったねえそんな長い休みとれて

真帆 うん、それで少しの間いさせてもらいたくて

春子 じゃあ今週ずっとこっちいるの

真帆 そうしようかな。いい？

春子 全然いいけど、なんか直哉君とあった？

真帆 いや何もないよ(美里に) しばらくよろしくね。勉強中？

美里 うん

真帆 大学？

春子 資格の勉強、理学療法士っていう

真帆 すごそうだねなんか

美里 すごくない大学の皆とってるから

真帆 へえー

春子 でもほんと久々だね真帆がうちに長くおるなんて、東京いったら全然顔出さんくなつてさ、よっぽど仕事忙しいんか、東京が楽しくて帰ってこんのじゃない？とか安田さんと喋つとつたの

真帆 いや別に楽しいっていうか仕事仕事、休みの日も月一ぐらいで講習入れてて、もうやばいよ

春子 それは切り方を教わるの？

真帆 なんか、例えば韓国風のレイヤーカットっていうのが流行ってるからそれを教えますとか、SNSの集客はこうして、みたいなのか

春子 東京だとそんないっぱいあって良さそうだね

真帆 まあね、だからもう直哉転勤辞めてほしいよねえ

春子 直哉君はずっと東京ってわけじゃないの？

真帆 しばらくは本社で、リーダー育成みたいなの受けつつ何年か仕事して、役職つきで支店もどるみたいなの

春子 ああそうすごいね

真帆、部屋の中の棚を開けて、物を探し始める。

美里 ねえ、芸能人見た？

真帆 なにが？

美里 芸能人見た？東京で美容師とか絶対芸能人会いそうじゃん、店来ないの

真帆 いや、ないよそんなん

美里 つまんない

真帆 あ、でもロケしてるの一回見たかも『味の宝石箱やー』の人、誰だっけ

春子 彦摩呂？すごいじゃん

美里 全然すぐくない

真帆 超失礼なんだけど

美里 もっとなんか声優さんとか見てないの、中村悠一見たいんだけど

真帆 いや見ないよ

美里 つまんな

真帆 声優見たいならライブとか映画の舞台挨拶とか行けばいいじゃん、めっちゃいたるところでやってるよ

美里 だからそんなん大体東京なんだから行けるわけないじゃん、電車乗りたくないし、お金かかるし。ねえお母さん車で東京行けないの？

春子 行けるわけないでしょ

美里 つまんな。いいなあ東京

真帆 そんなか？

美里 この町の娯楽ブックオフだけだよ

真帆 それは言いすぎ

真帆、棚を開けて物を探し続けている。

春子 あんた何探してんの？

真帆 えっと、通帳あったじゃん

春子 通帳？なんの？

真帆 私の入学祝いとかお年玉とか貯めといてくれてたでしょお母さん

春子 あーはいはい

真帆 あれ結局受け取ってないよね

春子 うん、使っちゃうからって置いてあったが。そこじゃなくて……ちよつと待つてなんかこわい、やっぱなんかあったんでしょ

真帆 いや別にそんななんもないけど

春子 なんもなかったらお金急にいらんでしょう

真帆 だって100万でしょ確か、なんもなくとも100万はいつだってほしいよ

美里 100万！

春子 120万ね

美里 120万！

真帆 なおさら欲しいねそれは

春子 あやしい

真帆 あやしくない。(隣の棚を指して) こっち？

春子 あ、わかった、家買うの？

真帆 え？

春子 直哉君と家買うから頭金いるんでしょ、違う？

真帆 ああー

春子 でも買うなら直哉君が名古屋の支店戻ってからだよね、あ、まさかこの辺では買わんよね？だってこの辺り土地の値段がずっと下がってるでしょう、だってうちも300万で買ったのが今2100万くらいまで下がってるからね？昔買うときにさあ緑区あたりのマンションか、そうだわ、長久手とかで買っといたら今頃すごいに、ジブリパークでまた土地が上がるでしょう？そういえばジブリパークってもうすいとるんかな？

真帆 ん？何の話？

春子 ああ、だからあんたも家買うなら気を付けたって話

真帆 いや、家は買わない(通帳をみつけて) これか

真帆、通帳の中身をみて「おお」と反応する。

美里 お母さん何でお姉ちゃんだけお金もらうの

春子 あんたに今渡しても何にも使わんでしょ

美里 使うよ

春子 いるもの全部買ってんだからいいでしょ

美里 おかしくない？

真帆 ていうかこれ印鑑どこ？

春子 印鑑別で置いてあんの（真帆に）あとあんた、今家の印鑑だから、あんたのに印鑑変更しないかんわ

美里 お母さんもう勉強疲れたからやめる。ゲームする

春子 うんいいよ、（真帆に）月曜に銀行連れてったろか

美里 ちゃんと言って

春子 だからいいよって、お姉ちゃんと今喋ってるでしょ

美里 勉強しないでいいって言って

春子 勉強しないでいい

美里 勉強しないでいいし、Apexやっていい

春子 わかった勉強しないんでしょわかった

美里 Apexやってっつう言っつ

春子 なに？えいペックす？

真帆 ゲームでしょオンラインの

美里 前話したじゃん！

春子 知らんもう新しいこと覚えるの辞めたのお母さんは。わかったからもうゲームしてて

美里 だからなんでわかんないの！「勉強しないでいい、Apexやってっつう言っつて！」

春子 勉強しないでいい、Apexやってっつう

美里 もう一回

春子 勉強しないでいい、Apexやっつぷる

美里 もう一回

春子 勉強しないでいい、Apexやっつぷる

美里、リビングから出ていく。

春子 もうわけがわからん

真帆 そうねえ

春子 この前もさ、あの調子でひどかったわ、今日はお姉ちゃんおるからあれぐらいだけど、資格の模擬試験かなんかが点が取れなかったからってずっと怒って「もう別にいいわ、そんな機嫌悪くなるなら資格も取らんでいい」って言うんだけど、勉強はするんだよね、それでイライラしてそれおいお茶投げてさあ

真帆 え、やば（机の上の空のペットボトルを手に取る）

春子 違うよお！空じゃないんだよ！中身入ったのそのおーいお茶はー。ばーんって冷蔵庫へこんでんのお

真帆 えー

春子 そんなで最後は剃刀出して暴れとって、「もう出てって」って言ってそのまんま出てったんだけどさあ、裸足で出てったの

真帆 裸足

春子 夜だしさもう危ないし何がしたいのかわつけどもわからん、できればくして携帯が鳴ったの、絶対警察だと思って、前も補導されて大変だったからさあ、出たくなかったけど、でもなんかあったら怖いじゃんかそんな夜に女の子がさ。で、出たら結局蟹江の警察署だわ。「保護してます」って言うから「さっき私と揉めて出ていったんだから、私が行ってもどうにもできません」って言って、あっちも困ってました

真帆 まあそうねえ

春子 で、おっさん行かせようとしたの

真帆 おっさん？ああお父さん

春子 おっさんね

真帆 お父さんを行かせようとしたんだ

春子 おっさんをね

真帆 まあ行かせようとして？

春子 でもおっさん行かないと、いつもそうでしょう。で私警察行ってさもう三回目だから警察のおじさんたち顔見知りなってるんだわ「どうもいつもすいません」「そちらもご苦労様です」って感じよ、まだまだ暴れとるで保健所の人に来て病院連れていきましようって言って夜中に私パトカー二台率いて病院行くんだわ

真帆 病院ってそういう精神的な？

春子 そう、で「入院させるかどうか決めてください」って医者が

真帆 ほう

春子 でき、決めてって言われとる時もずっと警察の人が三人か、おって、こっち見て待つとるの、警察の人までこんな夜中まで付き合わせて、申し訳なくてさあ「入院させます」って言うしかないじゃん

真帆 まあねえ

春子 それで「入院でいいです」って言って、二週間くらいは入院しとって、そんな時だけだったわ、おとなしいのは

真帆 おつかれさまです

春子 何の話だった、ああそうだ、印鑑。待ってて

春子、リビングを出ていく。

真帆、一人リビングに残される。ティッシュで鼻をかみ、ゴミ箱にティッシュを捨てようとするが、ゴミ箱の中にゴミが収まらず溢れかけていることに気付く。

真帆、大きなゴミ袋を手にとり、ゴミ箱の中身を袋に移す。そのまま部屋の片づけを始める。

美里、リビングに入ってくる。ゲーム機を持ってくる。

真帆 ……あ

美里 和室のテレビお父さん使ってたから

真帆 はい

美里、ゲーム機のコードをテレビにつなぎ、ゲームを始める。

春子、リビングに戻ってくる。

春子 (美里に) ここでやるの？お父さん部屋開けさせようか

美里 いい

春子 あそう。(印鑑を真帆の前にさしだす)

真帆、印鑑をとうとうとして、春子は避ける。

春子 直哉君と何かあったんでしょう何があったの

真帆 え、なに？

春子 あんたがちゃんと言わんと印鑑は渡さんよおー

真帆 なにそれ

真帆、印鑑をとうとうとして、春子は避ける。しばしその攻防を繰り返す。

真帆 ……いや、お金でつるのはずるいでしょ

春子 (印鑑を真帆に渡す) 心配しとるだけだが

真帆 ごめんて。揉めて家出てきたの…離婚したろうかくらいの感じで

春子 ええ？そんなとこまでいってんの？何で揉めとんの

真帆 まあ、なんだ、「専業主婦になって」という話が

春子 専業主婦？

真帆 そうなんだけど、いや最初から言うて

真帆、話をしながらリビングの物を整理して、いらぬものは「ゴミ袋」につめていく。

真帆 この前直哉の実家に行ったときに、まあお母さんの方からベタに「孫の顔はいつ見れるのかな」的な圧をかけてきて、その話は夫婦間で○○までは考えないって

ことで決着してるのね結婚前に、なのにその辺結局あっちがお母さんに全く言っ
てなかつたんだよ、だから子供の話されてさ

春子 直哉君長男でしよう？そらお母さんも言うよ

真帆 長男だから何？令和なんだけどもう

春子 令和だろうが、昭和だろうが長男は長男だから

真帆 いや？まあいいや。でお母さんが止まんないのよ、「若いうちに産んだほうが
いいからね」とか「子育て大変だから真帆ちゃんは専業主婦になったらいいわね」とか、
ぐいぐい来るのその日は、私もさあご飯食べる手止めて、いや、ご飯出してもらって
ありがたいですけど、ただ「はい、はい」って聞いているしかないわけ。何も言えない
じゃん、あっちの家でご飯も出してもらって。で、直哉がなんかバランスとること
言ってくれるかなと思って待ってたんだよ、そしたら「うん……うん……」とかいい
ながら、から揚げむしゃむしゃ食べてたの！私はこうして（箸を置いて）聞いているの
にい

春子 直哉君もう今年30でしよう、それでお母さん焦つとるんかな

真帆 でも私まだ27だよ？お互い30越えてから話すってなってるわけだから、てか
お母さんの方はいいの、直哉が何も言ってくれなかったのが腹立って、「あれなに」っ
ていったら「うちの親は言うからさ、まあ聞き流しといてよ」って

春子 まあだから夫婦の話はそうやってしてさ、とりあえずお母さんには「考えてま
すけど、タイミングですから」とか言っとけばいいが

真帆 いや今はそれでもいいけど。だって30に絶対子供産みますじゃなくて、その
時に考えようっていう話だからね、もし30になった時にだよ「子供はつくりません」
ってなったらこれ私が悪いってなるじゃん。だから「事前に話しといてね」って言っ
たのに、お母さんには何も言わないんだよ。まじでマザコンすぎ

春子 それで喧嘩して家出てきたの？

真帆 そつからめつっちゃロング喧嘩になった後ね、なんかもう関係ないことまで言い
合いまくって、わかんないけど最後私「そんなに若いうちがいいって言うなら私今か
ら卵子凍結してきます」「それならお母さん納得するんじゃないですか」とか言っ
たわ

春子 なに？卵子？凍結？

真帆 そういうのがあるの。若いときの卵子を取っといて。でそれを冷凍しとくのよ、で、産みたいときに体外受精で使うの

春子 なんかテレビで見た気する、すごい高いやつ？

真帆 大体50万くらいかけて取り出して、数によるけど年間10万とかで保存してく感じ

春子 でもそれ取り出すのに身体に負担はないの

真帆 あるんじゃない手術だから。それはよくて

春子 え、でも、それ本気で言ってるんじゃないでしょ

真帆 まあ、いやでも、半分本気

春子 ええ？

真帆 すぐにじゃないけど、それで色々言われなくて済むなら払ってもいいと思うよね

春子 え……なに、それでお金？（通帳を指す）

真帆 わからん、仲が戻ったら貯金にするし、卵子凍結かもしれないし、離婚したら引越し費用だし

春子 もう仲良くやってよ、揉めんとして

真帆 そりゃそうしたいけどさ……結局最後ね「真帆は資格持ってるんだから、いつでも仕事戻れるでしょ」っていや何もわかってないじゃんって

春子 うん……

美里（ゲームをしながら）ていうかさ、専業主婦になれるならそれでいいじゃん、ぜんぜんひどい話じゃなくない？

真帆 え

美里 東京で子供いて専業主婦やれるなんてほとんどいないでしょ、年収600万とか700万とか稼いでくれるってことでしょむしろいいことじゃん、どう考えてもあつちの収入が大きいならそうじゃない方が家のことやる方が費用対効果が高いに決まってるじゃん、そうじゃない？

真帆 費用対効果とかじゃないから合意の話でしょ

春子 もうあんたも余計なこと言わない。(真帆に) Youtube でひろゆきとかいう人の動画ばっかみてこんな話し方になってんの

美里 でもどっちかってなったら、給料高い方残すよね

真帆 いやそういうお金どうこうだけじゃないでしょ、大体さ

春子 はいはい、喧嘩するならどっちか二階いって!

美里、ゲームをしている手を急に止める。

美里 (春子に) 負けたじゃん!

春子 知らんわ

美里、リビングから出ていく。

真帆、再び片づけを始める。美里の机の上、机の下も整理してごみは捨てる。

真帆 大体この家いたら、普通に自分が子供育てられるなんて思えないでしょ

春子 ……申し訳ない私が悪いわ

真帆 いやそういうのじゃなくて

春子 この家におったら結婚も子供も嫌になるわ

真帆 いや結婚はしたじゃん、別に。大体お母さんは普通にしてるじゃん、美里もまあ病気な部分あるから仕方ないところもあると思うし、お父さんでしょ問題は。お父さんが警察行かないのは結局お母さんが全部やってくれると思ってるからでしょ、美里のことだけじゃなくて、家のゴミ捨ても掃除も全然してるのみたことないし

春子 そういうもんだから

真帆 そういふもんでいうけど、だって一生のことじゃん。うちだってゴミ出しも洗濯も大体私がやってるし、その状態で子供ってさ

春子 まあ、ねえ

真帆 ていうかさ、私からなんかお父さんに言おうか、美里のこと何もしないのおかしいでしょ

春子 おっさんは何言っても無駄なの

真帆 無駄って

春子 宇宙人なおっさんは。通じないの

真帆 ……美里も話通じないでしょ、宇宙人二人と暮らすのお母さんは

春子 そうだよ、そうするの私は。だからあんたは何もしやんでいい

春子、真帆が持っていたごみ袋を奪う。

真帆 でも何もしないでいたら、ずっと今のままでさ、それはさ

春子 ずっと今のままだわ。それか多分もっと悪くもなる、まずおっさんは友達もおらんし、仕事だけの人だから、あと二年で定年でしょ、仕事やめたらぼけるかもしれないと思うんだわ。そこまできんでも家にもおることになるから余計美里と揉めて、よくならんわ、美里もどうかわからんけど、あの子は就職しようとしとるみたいだけど正直アルバイトも続いたことないし、私も無理なら就職せんでいいって言うてるの。うちらがとにかく先に死ぬんだから、死んだ後のこと、最悪家は残るし少しでもお金は準備しておこうと思ってるし、どうしてもって時は生活保護とか、あの子はあの子で生きていけるようにしとくから。うちのことはもういいから、直哉君とちやんと話してきて

真帆 離婚したいとか思わないの

春子 (二階の方に一瞬視線を送り) どうも出来んでしょ

真帆、春子の手からゴミ袋を取り返す。

真帆 これどっか置いとく場所ある？

春子 玄関置いといて

真帆、リビングから去る。

春子、こなつ(子犬)をしばらくなでてから、時計を見る。

春子 (二階の美里に) 美里—お姉ちゃん帰ってきたし、夕飯の買い物行くけど一緒に行くー？

美里 マックスバリユの方？

春子 そうそう、ブックオフ寄りたいでしょ

美里 うん。行く

春子 はい、じゃあ準備するわ

美里、リビングに来て、何か探し物をしている。

美里 ねえ、問題集ここに置いてたやつどこ

春子 え、そんなとこ置いてた？二階じゃないの

美里 問題集は朝リビングで使ってたからここから動かさないでしょ、二階で問題解くときはパソコンでやってるから問題集は二階持ってたかないでしょ

春子 知らんわ、ちょっと待って

春子、問題集を探し始めるが、みつからない。

美里、いらだち始める。

真帆、リビングに戻ってくる。

真帆 なに？

春子 美里の問題集みてない？触ってないよね？

真帆 問題集？（机の上の本を指して）それじゃないの

美里 違うそれじゃない！（机の下を指して）ここにあったの

真帆、問題集を探し始める、しかし見つからない。

真帆 いや、捨ててはないはずだけど

美里 ねえ、ねえ、ねえ

春子 探しとるでしょ待って

美里 ないじゃん、ねえ何でないの、何でないの

真帆 ちょっと探すからていうか本だったら、最悪なかつたら私買って

美里 もう書き込みしてあるんだけど、書き込みしてある問題集があるんだけど、ど

うやって買うの

真帆 何その言い方？

春子 もう私探すから、美里は二階行つとき

真帆 大丈夫私が探す

美里 ……お前が帰ってくるからじゃん！

春子 もう二階いきな！

真帆、玄関からゴミ袋を持ってきて、ひっくり返す。

先ほど片付けたゴミが床に散らかる。

春子 なにするの！

真帆 探す

春子 もういいから！真帆も二階いきな！

真帆、ゴミの中を探す。

美里、春子に近づいていく。

美里 なんでないの、なんでないの、どうすんの、どうすんの

美里、春子に近寄り、手元のクッションで春子を叩く。

真帆 ちょっと！

真帆、美里を引つ張る。

美里 触んな

真帆 手出すなって！

美里 そっちも手出してるじゃん

真帆 止めただけだから

美里 だから触んなって！

春子 もうやめてってば！

突如、こなつ（子犬）の鳴き声が数回続く。

しばし沈黙の時間がある。

春子 こなつどうしたのこなつ……おしっこしちゃった？トイレ行けなかったの。怖かったねえ、よしよしよしよし、ちよっと待ってねえ拭くからね

美里 ねえ！

春子 今おしっこ拭いてるでしょ！こっちが先！

真帆 ……雑巾かタオルか濡らしてくる

真帆、リビングから出ていく。

春子、ソファを拭いている。

美里、部屋の隅に寝転ぶ。

真帆、戻ってきて、タオルを春子に渡し、その場で立ちすくんでいる。

春子 ……なに？

真帆 ……お父さん、ゴルフ行くなって、車使っていないかって

春子 ああ、どうぞ

春子、ソファを拭いている。

真帆、春子の姿をただ見ている。

真帆 ごめん。私今日ホテル泊まる

春子 そうしな

真帆、リビングから一度出るが、戻ってきて通帳と印鑑を手に取り、出ていく。

真帆、玄関からリビングにいる春子の方を振り返る。

春子、ソファを拭き続けている。

真帆、春子から視線を外し、足早に立ち去った。

幕